Super Dollars
白　　書

世界初の分散化奨励生態システム

SDO Foundation

March 2019

目次

第一章　概念説明.....4
1.1 要　旨.....4
1.2 項目紹介.....5
1.3 治コミュニティ思考.....5
1.4 IRO スマートコントラクト募金設計.....6
第二章 SDO トークンの紹介.....7
2.1 SDO の発行及び分配.....7
2.2 SDO のエアドロップ権力付与コミュニティ.....8
2.3 SDO の廃棄及び買戻し原則.....8
2.4 SDO の共振通貨の解釈.....10
2.5 SDO リスクヘッジ金の説明.....10
第三章　同周波数共振フレーム.....10
3.1 同周波数共振取引規則.....11
3.2 同周波数共振アルゴリズム.....12
3.3 SDO 同周波数共振バランス設計.....13
第四章 SDO 共振試合.....14
4.1 同周波数共振三大試合のフレーム.....14
4.2 SDO の同心者.....16
4.3 SDO の同力者.....17
4.4 SDO の同行者.....17
第五章 SDO 製品紹介.....18
5.1 ウォレット：Super Pay.....18
5.2 チェーンショップ：CoinBuy.....18
5.3 クイズ：FTGM.....20
5.4 運動：First Step.....21
第六章 コンセンサスメカニズム及びノード.....22
6.1 ライトノード.....22
6.2 一般ノード.....22
6.3 スーパーノード.....22
第七章 SDO コミュニティ指導規則.....23
7.1 コミュニティ自治指導草案.....23
7.2 コミュニティ自治指導草案.....24

第八章　SDO 生態.....27
8.1 初期段階.....27
8.2 SDO 生態形成段階.....30
8.3 SDO 民主自治段階.....31
8.4 SDO 未来ビジョン.....32

第一章　概念説明

1.1 要　旨

コミュニティとは、共同の興味、認知、価値観を持つユーザーが集まり、チーム効果を形成し、一緒にインタラクティブし、コミュニケーションし、協力し、感化することで、製品ブランドそのものに対して反哺効果を形成する価値関係を指す。このようなプロジェクトとコミュニティの群体の間に築き上げた感情的信頼と価値的反哺が、その形成した自己運転、自己循環の経済システムに共同で影響を与える。ブロックチェーンの中のコミュニティ経済は分散化を強調していて、プロジェクトの建設プロセスにコミュニティの力が必要であり、プロジェクトの開発、運営とマーケティングのために計画を立て、さらには自ら実行し、そしてコミュニティのメンバーはその中からプロジェクトの発展の配当金を分かち合うことができる。これはブロックチェーンプロジェクトとインターネット企業との本質的な違いと重要な利点の一つである。

コミュニティのメンバーが一つのプロジェクトの構想からデザイン、包装、生産、伝播、販売までに参加できて、コミュニティは大きい程度で人々の情報獲得能力と参与空間を解放し、個人はもっと大きい発言権と更に強い行動能力を取得し、自身の精神的ニーズを満たすことができる。個人は自分の興味と能力によって、ある自発的な規則に従って蜂巣状の群体を構成する。

ブロックチェーンの技術と精神に基づいて豊富な機能と価値を持つ生態コミュニティの形成はブロックチェーン業界の持続的な良好な発展の内在的な需要と必然的な要件であり、このようなプラットフォームは未来に多くの人がブロックチェーン世界に入る主な入り口になる可能性が高くて、かなり高い業界価値を持っている。

Super Dollars（SDO）プロジェクトは、本白書で SDO のコミュニティ創世提案を述べ、サービスと奨励がコミュニティ創世の基礎標準サービス原則となると考えている。SDO 白書はコミュニティ建設において、サービスをマシンサービスとボランティアサービスに分け、奨励を発展配当と貢献奨励に分けて重点的に説明している。

Super Dollars（SDO）プロジェクトは、新たな Initial Reward Offering の初めの奨励発行メカニズムに基づいて、SDO 運営活動の各段階は、コミュニティ奨励とインテリジェント化契約設計及びインテリジェント化されたマシンコードをめぐって実行され、真実で改竄されないことを確保し、またミュニティの長期的な発展のために、プロジェクトの異なる段階で発生した利益がコミュニティに還元できることを確保する。

1.2 項目紹介

Super Dollars（SDO）はブロックチェーン技術に基づいて商業生態内に流通しているTokenであり、Super Dollarsは金融分野、消費支出、コミュニティ権益及びビジネスシーンなどの使用機能を融合することに努めている。現在はウォレット、応用、ゲーム、OTC、IROスマートコントラクトなどの総合生態サービスプラットフォームをカバーしている。

1.3 治コミュニティ思考

コミュニティはブロックチェーンプロジェクトに対して、ブロックチェーン業界全体の重要性はすでに基本的な業界共通認識を形成していますが、2017年の比較的に活気があって、上調子な一年を経て、ビットコイン、エーテル坊などのごく少くないプロジェクトがコミュニティ構築において優れていて、ほとんどのプロジェクトはコミュニティ構築においてうまく機能しない。

名人であろうと、投資機構であろうと、いつもお金を巻き上げて逃げること、資金の使いが不透明であること、投資者の利益が損なわれることなどの状況が現れて、デジタルマネー愛好者がICO、IGO、IEOなどの募金方式に対して失望していることを招き、このようなニュースは多くて、ここで詳しく説明しない。

ブロックチェーンの信仰者として、我々は

「コミュニティのメーバーが資金、時間と精力を使って生態のために価値を創造したので、最初の参加で報われるべきである。

コミュニティのメーバーが生態の一部になったが、価値を創造する者は相応する報いを獲得しないことは、はねじ曲がるのである。

生態とユーザーの関係は利用と利用される関係であるべきではなく、この関係は早急に変えなければならない。

ブロックチェーンの世界には、ユーザーにサービスを提供するという概念がなく、コミュニティのメンバーがもはや「神様」ではなくなり、これは病的な状態である。

一緒に初心に返り、コミュニティを素晴らしいものにしましょう。

1.4 IRO スマートコントラクト募金設計

Initial Reward Offering （IRO）という最初奨励分配メカニズムは、初めのコミュニティを中心とする奨励分配メカニズムである。プロジェクトの設立、プロモーション、運営、ブランド、商業、協力などプロジェクトの発展の各重要な段階で、コミュニティユーザーを中心とし、発生した利益が公開で透明でコミュニティに還元できる。全体の運営過程において、コミュニティの民主自治を前提とし、スマートコントラクトコードを法律とし、コミュニティに貢献することを自分の責任とし、また関連情報をチェーンに記録し、内容の真実さを確保し、改竄してはいけない。

このために、IRO スマートコントラクト募金に関する規則を提案する。

1、プロジェクトファイナンスのデジタル通貨アドレスは一つまたは複数の公開アドレスである。

2、融資資金の通貨は一定の影響力を持つデジタル通貨（BTC、ETH、ETH、EOS など）である。

3、融資資金プールは公開されており、ブロックチェーンを通じて資金の明細を調べることができる。

4、融資の周期は公開されて透明性があり、幅広い合意を得たブロックチェーンプロジェクト（BTC、ETH、EOS など）ブロックの高さの周期を基準とする。

5、資金と Token の両替は自動化されていて、入金時間は投資者が支払う燃料の量によって決まる。

6、Token で取得したコストは円滑な上昇曲線のようであり、そしてアルゴリズムによって自動的に実現され、アルゴリズムは公開されている。

7、少なくとも 50%以上の融資資金を技術的手段でコミュニティの投資家、普及者及びコミュニティユーザーに還元する。

8、プロジェクトの融資が完了し、運営が開始する時に、コミュニティユーザーがプロジェクトの未来発展に参加するように権力を与える。

9、コミュニティの創世管理制度を設定し、投票管理、運営や普及、グローバルノード、商業配置など、コミュニティ自治の分散化を徐々に完成させるよう指導する。

第二章 SDO トークンの紹介

2.1 SDO の発行及び分配

Super Dollars（SDO）は SDO 生態プラットフォームとその周辺の生態の機能使用権を代表している。

発行総量：200 億

合意アルゴリズム：DPOS

プロジェクト起動資金（5%）とリスクヘッジ金（5%）として、10%＝20 億円を予め掘り出す。残りの 90%＝180 億は、DPOS として産出される。

SDO プロジェクト起動資金の配分細則は以下の通りである。

70%=7 億の SDO を共振池に入れ、ETH として Token を発行し、SDO プロジェクト起動資金に属している。

--そのうち 30%=2.1 億の SDO はプロジェクトチームの起動金である。

--そのうち 70%=4.9 億の SDO は共振コミュニティの奨励金である。

15%=1.5 億の SDO を生態池に入れ、プロジェクトコミュニティ生態初期資金として SDO 生態構築基金に属している。

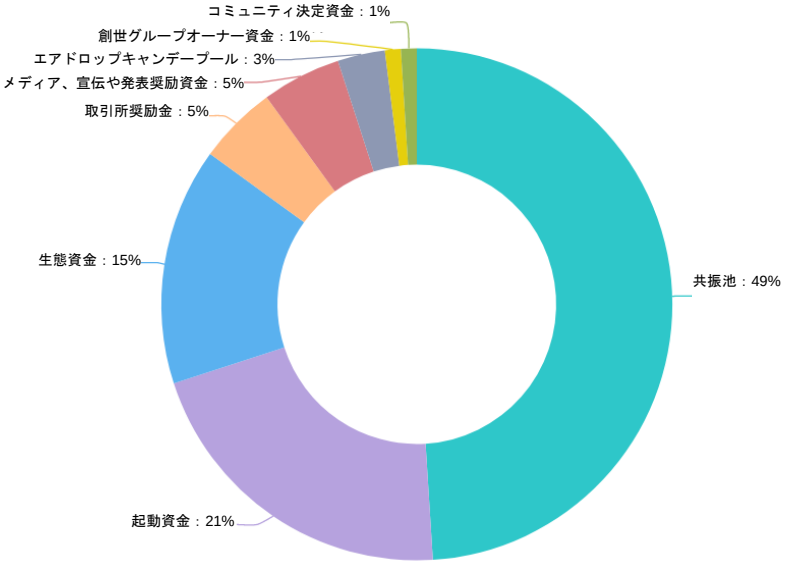
5%=0.5 億の SDO を取引所の賞金プールに入れ、取引所の奨励資金として SDO 生態建設基金に属します。

5%=0.5 億 SDO はメディア宣伝池に入れて、メディア宣伝奨励資金として SDO 生態構築基金に属している。

3%=0.3 億の SDO をエアドロップキャンデープールに入れ、ウォレットユーザーのエアドロップ奨励金として SDO コミュニティ奨励金に属している。

1%=0.1 億の SDO を創世グループオーナーに入れ、創世グループオーナーの奨励資金として SDO コミュニティ奨励金に属している。

1%=0.1 億の SDO をコミュニティ決定池に入れ、コミュニティ投票で用途を決定する資金として SDO コミュニティ奨励金に属している。



2.2 SDO のエアドロップ権力付与コミュニティ

SDO のエアドロップはプロジェクトウォームアップ、共振者の活動への参加、コミュニティ自主投票という 3 つの方式に分けられる。

2.2.1 SDO プロジェクトのウォームアップエアドロップ

ウォームアップエアドロップ総量：1000 万枚 SDO

エアドロップ方式：SDO プロジェクトチームは正式に共振を開始する前にウォレットのホワイトリストのユーザーにエアドロップを行う。

ターゲットユーザー：ウォレットをダウンロードするユーザーとブロックの高さのスナップショット

エアドロップ時間：ブロックの高さが XXXX に達成した後、エアドロップを開始する

エアドロップ数：1000 万 SDO/ウォレットユーザー数

注：ターゲットユーザーの重複した IP を自動的にフィルタリングし、各 IP は一回だけエアドロップができる。

2.2.2 SDO 共振参加者エアドロップ

エアドロップ総量：1000 万枚の SDO

エアドロップ方式：SDO プロジェクトチームは共振終了後、すべての参加者にエアドロップを行う。

ターゲットユーザー：SDO プロジェクト共振参加者

エアドロップ時間：コミュニティの公告を主とする

エアドロップ数：1000 万 SDO/共振参加者数

2.2.3 コミュニティが自主的に決めたエアドロップ

エアドロップ総量：1000 万枚の SDO

エアドロップ方式：コミュニティユーザーが決めたエアドロップ方式

エアドロップ回数：コミュニティユーザーが投票で決める

ターゲットユーザー：なし、コミュニティを主とする

エアドロップ時間：なし、コミュニティを主とする

エアドロップ数：なし、コミュニティを主とする

エアドロップ目的：皆の意見を集めた後、1000 万枚の SDO のエアドロップ権をコミュニティに付与することを決める

2.3 SDO の廃棄及び買戻し原則

SDO チームは、ブロックチェーンであろうと、インターネットプロジェクトであろうと、すべて利益を生み出すものだと考えている。現在、ブロックチェーンに基づく商業的応用は金融分野に集中しているが、ブロックチェーンがゲーム、電気商、博彩などの分野における探索と商業化を続ける傾向がある。SDO プロジェクトは公益プロジェクトではなく、すべての生態における探索や応用はいずれも商業化の方向に発展していて、これは未来の発展趨勢であり、必然的傾向でもある。SDO プロジェクトの生態が健全的に発展できるため、またプロジェクトチームの積極的な探求精神を維持するために、我々は買い戻しの原則を採用し、四半期方式、応用内公告などの方式によって直ちにコミュニティメンバーに関連廃棄、配当、買い戻し状況及び SDO の使用シーンと探索方向を公表することとなり、これらの内容は次の章において体現される。

2.3.1 奨励性廃棄

奨励性廃棄は、資産両替時に発生する手数料、担保解除時に発生する手数料、ノードによって発生する抵当燃焼などを含むがこれらに限定されない。回収される手数料（SDO）を段階的、分量的に廃棄することで、生態の健全な発展を保障する。

2.3.2 収益性買い戻し廃棄

収益性買い戻しは、両替デジタル商品、ゲーム類、博彩類、デジタル商品金融派生類、鉱山機、採掘などを含むがこれらに限らない。収益性買い戻しと廃棄によって、コミュニティ SDO の所有者の利益をある程度で保障し、コミュニティとプロジェクトを共融的に発展させることができる。

2.3.3 ミュニティ事務性廃棄

コミュニティ事務性廃棄は投票、活動、身分創立、方策決定権の使用、コミュニティの建設などを含むがこれらに限らない。事務性の廃棄に参与することは主にコミュニティの参加者のコミュニティに対する重視性を高め、積極的にコミュニティの建設の中に身を投じてきて、コミュニティの長期にわたり発展することに役立つことを目指す。

2.3.4 協力性廃棄

協力性廃棄は、つまり他の協力者がコミュニティに入る時、SDO は平等互恵の原則に基づいて、協力者に一定数の SDO を買って公開廃棄させる。協力性廃棄は将来の SDO 商業生態内のすべてのセクションの協力を含む。これは毎回の協力がすべてのコミュニティのメンバーが生態発展による収益を平等的に獲得できるように確保することを目指す。選択しにくい協力先については、コミュニティで議案を提出し、コミュニティのメンバーの投票で廃棄するかどうかを決めることができる。

2.3.5 他の種類の廃棄

生態の発展に伴い、未来に SDO プロジェクトチームはコミュニティのメンバーの実際の発展状況に基づいてより多くの廃棄モードを提案する必要があり、その際、コミュニティで提案を公開して投票し、廃棄するかどうかを決める。

2.4 SDO の共振通貨の解釈

コミュニティプロジェクトの参加者の資金の安全を保障するため、チームは資金の募金を公開して行うことにした。募金アドレスは公開される唯一または複数のブロックチェーンアドレスである。

2.4.1 ETH 安定共振の説明

コミュニティが共振に参加する安定性を保障するために、SDO チームは ETH（エーテル坊）を通して共振を行う。理由は以下の通りである：

（１） 中心化されたプラットフォーム通貨がプロジェクトの募金によって激しい市場価格の変動を生じることを避ける。

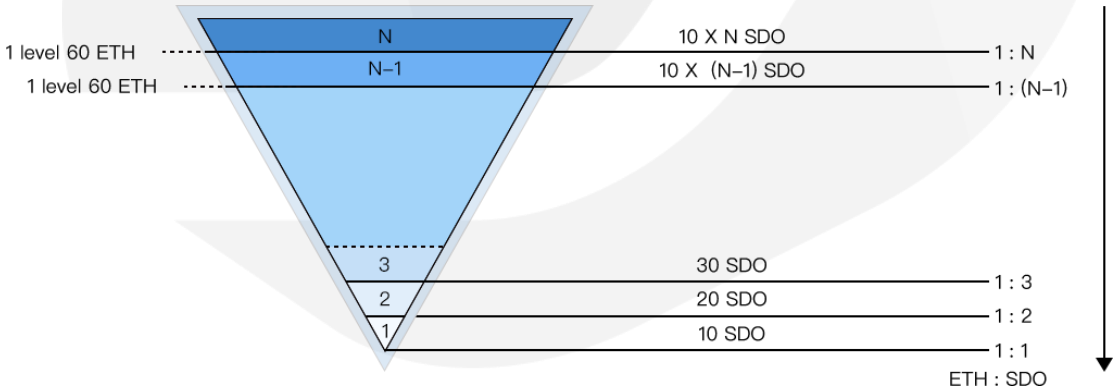
（２） BNB、HT、OKB などの中心化プラットフォーム通貨に比べ、ETH の影響力がもっと大きい。

（３） 主流のため現れた参加者の利益が損なわれることを避ける。

分散化することで、時間差が発生した場合、プロジェクト側の裁定取引を避けることができる。

2.4.2 SDO 共振池

SDO 共振周期はブロックチェーンの XXXX の高さで始まり、共振は ETH：SDO=1：1 で終了する。その構造アルゴリズムは以下の通りである。



2.5 SDO リスクヘッジ金の説明

周知のとおり、ブロックチェーンの世界には不確実性と変化に満ちていて、ほぼ数週間ごとに相場とホットスポットには新しい変化が起こる。変化を受け入れることは各ブロックチェーン参加者の基本的な素養であり、また変化に対してリスクをよく制御することも各ブロックチェーン参加者の基本的な認識であるべきである。

コミュニティの利益とリスクを考慮した上で、未来のエーテル坊が現れる可能性がある主な技術リスクとして、我々は10億枚のSDOを追加的に掘り出すものとする。ブロックチェーンの大きさ、Infura中心化、チップ間通信とコードホールを含むがこれらに限らない。我々はこの部分のリスクヘッジ金を使ってリスクを積極的に対応するものとする。SDOとETH資産の組み合わせ、多様なデジタル通貨や金融派生

品取引、ETHに基づく新たな合理的共振、コミュニティの影響力と利益の拡大、また他のプロジェクトと連携してSDO生態の発展に役立つ協力を行うことなどを含むがこれら限らない。

一つのカレンダーイヤー内（つまり2019年12月31日まで）にこのリスクヘッジ金をまだ使っていない場合、我々はコミュニティに意見を募集し、このリスクヘッジ金を公開廃棄するかどうかを決定する。

公開されたブロックの検索のウェブサイトアドレスは：0x00cce1884d974abd51d85d2dc7fa8b1d83d73d68

第三章　同周波数共振フレーム

3.1 同周波数共振取引規則

解釈：同じ周波数の物質は共振したり、共鳴したり、互いに寄せたりして、いつも思想、意識、言論、精神状態などの方面の共鳴や協同を指す。「同周波数」は SDO プロジェクトの価値を実現する一つの方式であり、生態プロジェクトの建設初期に確立された一種の精神的アイデンティティである。「共振」はさらに同周波数、同方向性を必要とし、ブロックチェーンの技術、規則及び SDO プロジェクトの理念と価値を通じて、革新型サービスモードの変革を導く。注：本章では「共振」を重点的に述べる。

SDO 共振取引は ETH を単方向で SDO に両替するチャネルである。同じ楕円曲線アルゴリズムを使うことによって、共振段階を 685 のサブ段階に分け、サブ段階が前に近づくほど、SDO の生態プロジェクトに早く参加した投資家はより高いトークン数を持つことができる。

SDO 共振創世池の初期総量：7 億

共振で得た SDO の 30%は SDO プロジェクトの開発運営に使用され、70%は SDO 賞金プールに属している。

両替周期が終わってソフトトップに着くが、ハードトップに着かない場合、残りの SDO は生態バランスプールに入る。（3.3 章を参照）

最低の両替数量は 0.01 個 ETH であり、各段階は自動的に 60 個の ETH にマッチングし、60 個の ETH に達した後、すぐに次の段階に入り、上の段階での下の段階の両替レートは 1 点減少する。

共振は、早く投資すればするほどマッチング率が高いことを原則としている。初期投資の収益率は安定期の 6.059 倍になる。共振段階は 1000 個のサブ段階に分けられ、サブ段階が前に近づくほど、獲得したマッチング率が高くなり、SDO も多くなる。初期段階で発行された SDO は 1516700 枚である。初期段階の SDO 一枚あたり価格は 0.00685 ドルである。各段階は 60 ETH のみマッチされる。60 ETH に達したら、すぐ次の段階に入る。

3.2 同周波数共振アルゴリズム

アルゴリズム

Cn = 1.08722 x {70000 x 20 - n^2- ( ) - ( ) - ( ) - [250000 - (n - 499)] x 2.2}

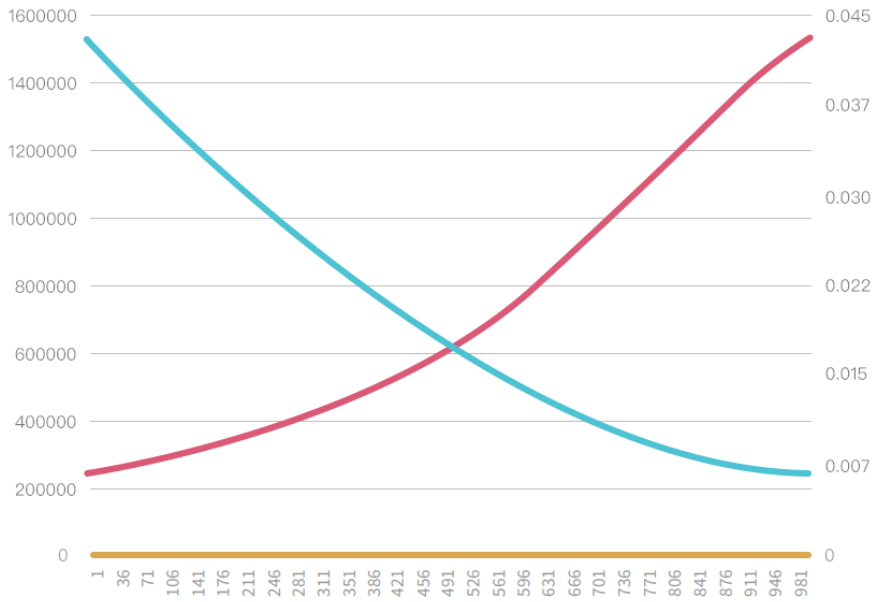
PS:n は段階番号である

例えば、1.融資初期（第一段階）では、n=1、SDO の発行量=152208 枚の場合、SDO の単価は 0.00685 ドルである。2.融資の第 632 段階では、n=632 SDO の発行量=458515 枚の場合、SDO の単価は 0.0227 ドルである。

共鳴段階とトークン価格曲線

赤線は共鳴段階を表す

紫線は SDO 価格曲線を表す



3.3 SDO 同周波数共振バランス設計

SDO 生態の中で、我々の一つの重要な仕事は POS コンセンサスに基づく経済のバランスをよく取ることである。共振モードを導入した後、共振モードと POS コンセンサスの特徴に対して、新たな共振バランス設計を行い、生態を合理的、バランス的、有益な環境で維持するように努めている。SDO 共振バランス設計コアは、共振の持続性による価格安定と POS 掘削によるオーバーフロートークンの消費問題という 2 つの部分を含む。共振の持続可能性による価格安定とは、正式な共振が終わった後、共振資金プール内に両替できる SDO がなくなるが、共振が終わった後の市場価格の相対的安定を最大限に維持するために、POS 掘削によって発生したオーバーフロートークンを資金プールに再注入し、これによって資金プールはある特定の状況においても市場の共振を維持でき、そして共振によって得られた資金を市場の普及に再投入し、比較的安定したバランスを維持することができる。

POS 掘削によるオーバーフロートークンの消費問題、すなわち SDO 生態は POS コンセンサスに基づく掘削メカニズムとして、POW の機能性設計がないが、「より多くの仕事をし、より多くの利益が得られる」という公平理念に基づいて、我々は鉱夫が実際の支払いで獲得すべきすべての利益を得ることを励ます。鉱夫がいかなる原因で、実際の支払いが POS の固定収益と完全に一致できない場合、掘削によるオーバーフロートークンの消耗を生み出す。つまり、もともと鉱夫が得るべきトークンは自分の原因でこの際すべて獲得できない。得られなかったトークンは消耗として、再び共振資金プールに戻り、全コミュニティが共振と普及に参加するように使用される。

再び共振資金プールに入る SDO が通常のレートで共振し、共振で得られた ETH によって同心者、同力者、同行者を再選抜する。

第四章 SDO 共振試合

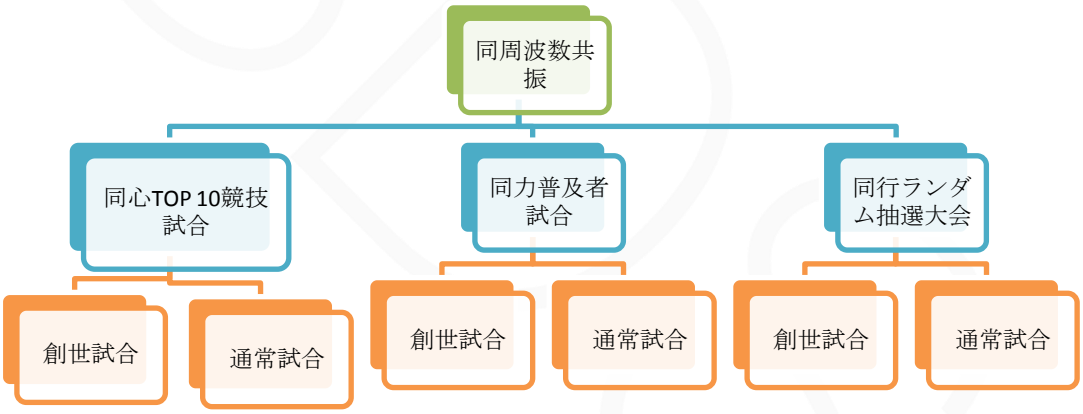
4.1 同周波数共振三大試合のフレーム

SDO には非常に多くの巧妙な試合設計があり、これらの試合のデザインは互いに呼応して、SDO 生態をよりバランスのとれた活力に満ちているものにし、SDO コミュニティ参加者に友好的なユーザー体験をもたらし、そしてエンターテイメントももたらす。

「同周波数共振」は ETH から SDO への単方向交換であり、共振により各参加者は高いコストパフォーマンスの SDO を交換でき、より高い収益を得ることができる。これは SDO 生態内の一つの金融バランスメカニズムである。

SDO は「同周波数共振」のために多くの ETH を獲得し、SDO が完備された内在的金融とネットワーク生態の循環を形成するために、また分散化された設計原則とコミュニティに還元するという指導思想に従うために、SDO は共振両替で集めた ETH を直接に試合の参加者とランダム抽選の勝者に配分する。

三大試合図

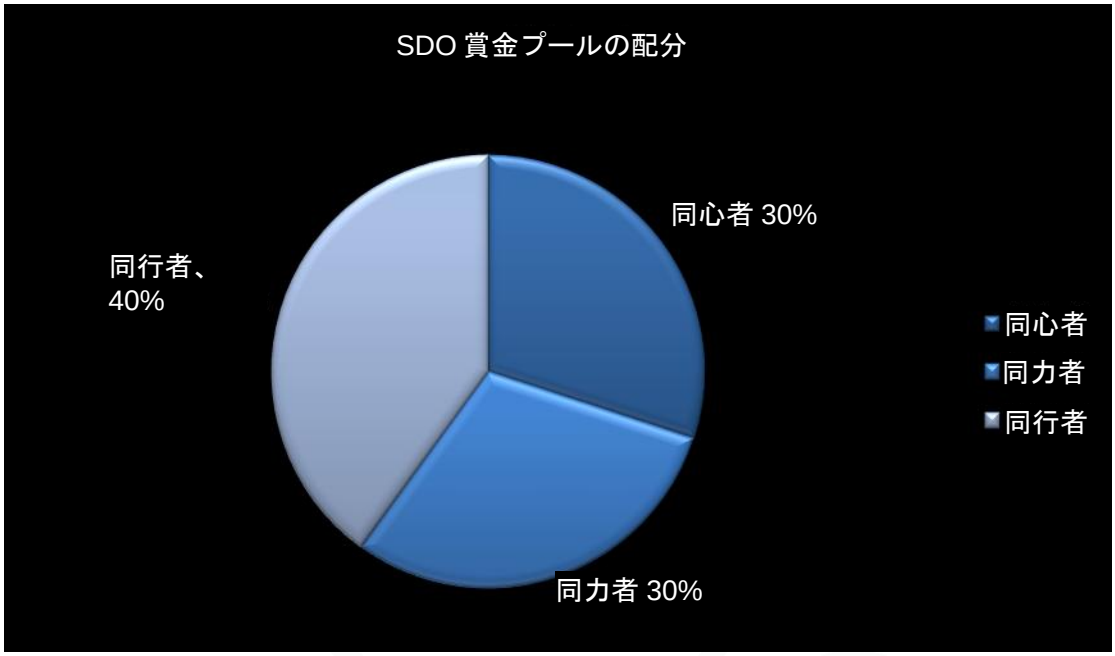


三大試合は IRO の同周波数共鳴の核心の一つとして、SDO 生態は直接に同周波数共振賞金プールの 70%の ETH を試合のボーナスとして、SDO の三大普及グループに奨励する。

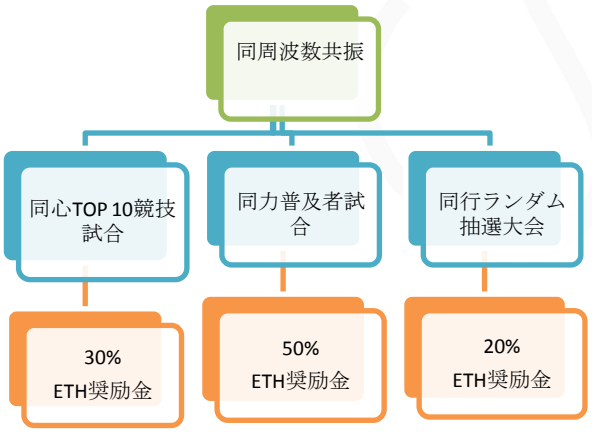
--30%の賞金を「同心者」に奨励し、つまり共振に参加したまたランキングのトップ 10 ユーザーである。

--50%の賞金は「同力者」に奨励し、つまり普及に参加したまたルールに合ったすべてのユーザーである。

--約 20%の賞金を「同行者」に奨励し、つまりに共振に参加したまた抽選に該当するユーザーである。



注：SDO 同周波数巨額賞金プールに参加するユーザーは、共振に参加したホワイトリスト参加者でなければならない。



三大賞金プールの賞金は、同周波数共振が開始してから、スマートコントラクトで自動的に三大賞金プールのウォレットアドレスに配分される。

4.2 SDO の同心者

同心者、すなわち初期に SDO 生態に強い信仰を持ち、そして共振に参加することで FDS 生態に対する支持を表現するユーザーである。共振段階では，共振参加数が最も多い上位 10 名のユーザーをリアルタイムにリストし，共振終了後もランキングにいる 10 名のユーザーを生態同心者とする。

SDO の共振がずっと続くため、同心者への奨励はブロックの高さのスナップショットによって支給される。同心者試合の具体的なルールは以下の通りである。

（1）創世試合は共振開始後の一ヶ月後にスナップショットを取って奨励金を支給する。

（2）一般試合は月ごとにスナップショットを取って自動的に奨励金を支給する。

（3）一般試合の共振プールの賞金は、DPOS 掘削によるオーバーフローSDO（3.4 章）及び創世試合での未共振の SDO である。

同心者試合賞金の配分細則				
TOP 1	10%		TOP 6	1.6%
TOP 2	6%		TOP 7	1.4%
TOP 3	3.5%		TOP 8	1.2%
TOP 4	2.5%		TOP 9	1.0%
TOP 5	2.0%		TOP 10	0.8%
合計：30%				

4.2.1 SDO 同心者の規則は以下の通りである。

(1) 創世試合は共振開始後の 28 日目の夜 24 時に終了し、一般試合は毎月の一日から開始する。

(2) 毎月 10 日以内アドレスの持つ SDO 量は共振両替量の 85%を下回ってはいけない。

(3) 毎月 15 日以内アドレスの持つ SDO 量は共振両替量の 90%を下回ってはいけない。

(4) 毎月 20 日以内アドレスの持つ SDO 量は共振両替量の 95%を下回ってはいけない。

(5) 毎月 30 日以内アドレスの持つ SDO 量は共振両替量の 100%を下回ってはいけない。

(6) 同心者 TOP10 のウォレットアドレスは唯一なものであり、複数のウォレットアドレスで登録して計量することでができない。

そうでなければ、リーダーとしての奨励資格を失ったと見なされ、失った奨励金は SDO の買い戻しに使われてまたは廃棄される。共有両替終了後の 2 日内で、所持通貨の 60%をコミュニティの指定された場所に入れてヘッジする。ヘッジが完了すれば、リーダとしての ETH 奨励を得ることができる。ヘッジ分の SDO は 5 ヶ月に分けて発行され、毎月ヘッジ量の 20%を発行し、またこのヘッジ分の SDO もスーパーノードの中に参加し、スーパーノードの収益を獲得することができる。

4.3 SDO の同力者

同力者は、一緒に力を入れて普及して、つまりすべてのコミュニティの普及に参加するユーザーは皆同力者である。同力者は 40%の推薦奨励金を均等に分ける機会がある。同力者の参加方法は簡単に言えば、数字を集めて賞金プールを分けるゲームである。各同力者は FDS 生態を普及させ、推薦された者は指定された契約に 200 枚の SDO を送金する必要があり、そのうち 150 枚は直接に次の試合の賞金プールに入り、残りの 50 枚は上級の普及者に返し、同時に普及者のウォレットアドレスを記入する必要がある。

同力者が 10 の文字を集め揃えた場合、任務を完成させることとし、賞金プールを分けることができる。ブロックの高さが XXX に達した時に試合が終了し、全部の数字を集めた者は賞金プールを平等に分配することができる。賞金はスマートコントラクトで自動的にユーザーのウォレットに送金する。

注意事項：普及する時、推薦された者は Super Pay ウォレットの中で推薦関係をバインドする必要があり、もし他のルートで廃棄したりバインドしたりすると、契約が効果的に推薦関係を統計できなくなり、損失をもたらす可能性が高いので、コミュニティ普及者は必ず Super Pay マネーバッグをダウンロードして使用してください。

同力者試合は創世試合と一般試合に分けられて、その資金配分とソースは以下の通りである。

同力者試合は、総賞金プールが 50%の巨額の賞金であり、その中、創世試合は 20%を占め、残りの 30%は 15 の部分に分けられて、毎月に一回の一般試合を行い、毎回 2%を分ける。一般試合では、SDO の賞金プールが別途設立され、ネットで前の試合に加入したすべての同力者の手数料の 75%から構成されている。

4.4 SDO の同行者

同行者は、コミュニティと一緒に同行し、つまり共振に参加するすべてのユーザーは同行者である。同行者とは、すなわち我々は公平公開という原則に基づき、共振に参加したすべてのユーザーに対してランダムで真実な抽選を行い、そのすべての当籤者はつまり同行者である。同行者の数は共振終了後、共振に参加したアドレス、即ち有効参加人数の 20%を有効人数として、毎試合は 1 週間であり、また試合ごとに抽出された同行者（人数）は有効人数の 5 分の 1 である。共振に参加したユーザーは、毎試合が開始してから普及を行い、試合ごとに普及された最初の有効ユーザーのハッシュ値のアルファベットを除いて一連の数字を獲得でき、これらの数字はつまり抽選コードである。抽選コードは数値の大きさによって並べられて、抽選人数に合う範囲内にランクされているなら、つまり当籤するものである。

第五章 SDO 製品紹介

5.1 ウォレット：Super Pay

Super Pay は SDO 商業生態の重要な担体であり、コミュニティユーザーが将来に権利を行使する中心でもあり、更に財産収益の決算と管理センターでもある。

SuperPay の機能は、共振取引、システム普及、ネットワーク抽選、ノード選挙、自治委員会、場内フラッシュ両替、匿名 OTC 取引、コミュニティ交流などを含むがこれらに限らない。

5.1.1 マルチチェーンウォレット

一連のニーモニックでマルチチェーンウォレットを作成し、マルチチェーンは様々があるが、同様にスムーズに支払うことができる。 ユーザーは自分でデータが管理でき、第三方のサービスプロバイダに頼る必要がなく、個人データの開示を避けることができる。同時に、SDO ビジネスエコシステム内の異なる DAPP 資産のモジュール間管理をサポートし、デジタル資産のチェーン間のフラッシュ両替をサポートすることができる。

5.1.2 共振取引

SDO 同周波数共振取引は、円滑なアルゴリズムを革新し、デジタル資産はプロジェクト側に完全に属しなくなり、プロジェクト側は絶対的な支配権を持たなくなる。IRO 同周波数共振の資産の 70%は一定の規則に従ってコミュニティに返す。この規則は完全に透明で公開され、そして公正競技の原則を通じてコミュニティの貢献者及び参加者に奨励し、この規則はスマートコントラクト書に記入されて自動的に実行される。

5.1.3 同力者のネットワーク普及

SDO の同力者のネットワーク普及は、分散化計算と運行を実現させ、スマートコントラクトを利用して自動的に実行される。各ユーザーはウォレット秘密鍵を導入すると FID 識別情報を作成できる。ウォレットのアドレスはユーザーの FID パラメータである。Super Pay を通じて推薦者のアドレスを記入し、また作成された関係契約に送金し、賞金プールの分配と分割を完了した後、双方の間では推薦と推薦された関係を形成し、すべての関係は直接ブロックチェーン内に保存され、公開されて調べることができる。ネットワーク普及の参加者が多いほど、次の試合の賞金プールの金額が高くなり、前の試合の参加者はウェイトとポイントをクリアした後、次の試合の賞金プールを獲得できる。

5.1.4 同行者抽選システム

同行者抽選システムは、普及者に対するシステムの奨励以外の一つの補充奨励であり、全体のコミュニティメンバーに向けて、SDO 生態内でユーザーをランダムに奨励するもう一つの面白い機能である。それぞれ共振段階と発展段階において、高い賞金を得られる幸運なユーザーをランダムに選ぶ。同行者抽選システムの設計は、SDO コミュニティ奨励の公平性を改善し、「より多くの仕事をし、より多くの利益が得られる」ということを奨励すると同時に、同じく苦労を払ったユーザーを期待して激励し、コミュニティの健全的な発展に役立つことができる。

5.1.5 匿名 OTC システム

共振段階では、進捗状況に応じて匿名 OTC 取引機能を開放し、ユーザーの間の取引をサポートする。匿名 OTC は、スマートコントラクトを信頼の基礎とし、ユーザーの人間関係ネットワークを奨励関係とし、発生した収益を分配する。具体的には、匿名 OTC は、ユーザーが KYC を必要としない場合ではウォレット内での取引をサポートし、またスマートコントラクトと仲裁メカニズムによって取引の安全性を確保する。

5.1.6 ノードシステム

SDO のノード生態には、ライトノード、一般ノード、スーパーノードの三つがある。三者は互いに独立し、それぞれ特徴がある。ライトノードは参加性をより重視し、誰でも参加できることを奨励し、そしてより多くの仕事をし、より多くの利益が得られる。一般ノードはコミュニティへの貢献をより重視し、コミュニティの良い発展のために必要なハードウェアサポートを提供して収益を得る。スーパーノードは責任をより重視し、コミュニティ内のエリートたちがスーパーノードを通じてコミュニティの治理に参与し、共にコミュニティの健全的で長い発展を維持することを奨励する。

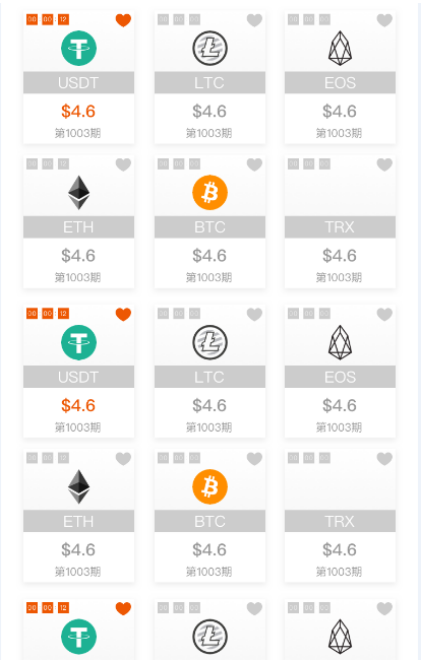
5.1.7 ミュニティ自治と裁決

SDO コミュニティは自治委員会を設立するつもりであり、コミュニティメンバーは SDO ウォレットを通じてコミュニティの事務を管理し、裁決することができる。関連事務はプロモーション、表彰、開発、協力、普及などに限らない。権力と流動性価値の安定的な結合を実現するために、各治理には一定量の SDO を消費する必要があり、または SDO を廃棄することで一定の地位を取得する必要がある。注：詳しいことはコミュニティ自治説明章の紹介を参照してください。

5.2 チェーンショップ：CoinBuy

CoinBuy は SDO ビジネス生態における初めのアプリケーションの一つであり、コミュニティユーザーに真実、マルチ通貨仮想商品とデジタル通貨のハッピーショッピングのプラットフォームを提供している。

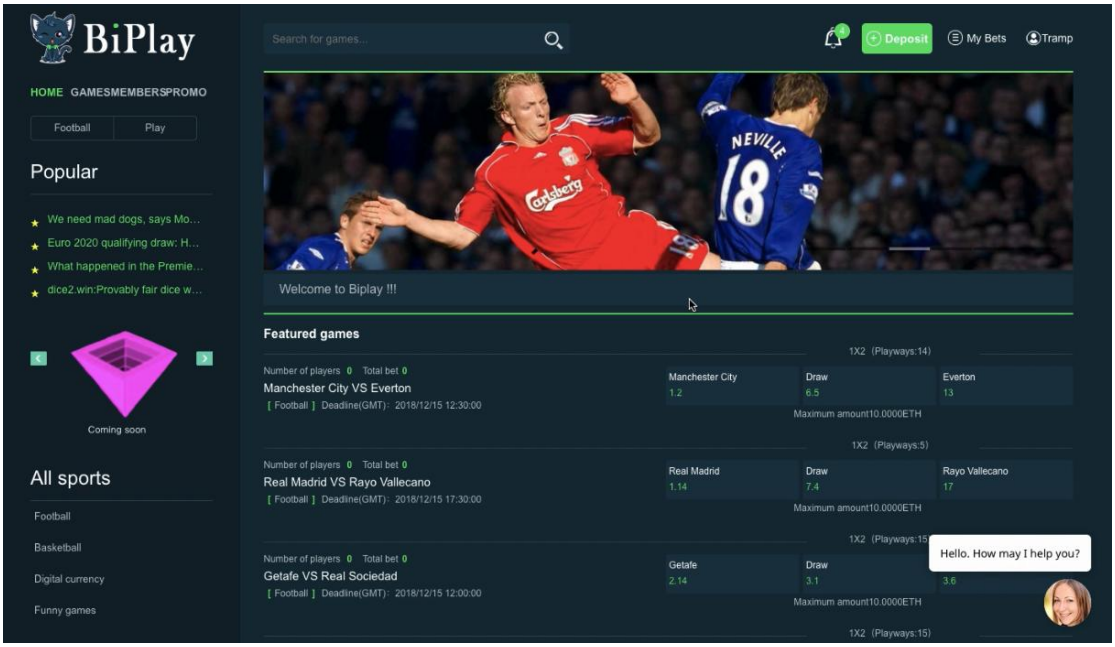
CoinBuy の機能は、仮想商品の買い換え、デジタル通貨 C2C のオークション、ハッピーショッピング、B2C 鉱夫という 4 つの異なるチャンネルを含み、SDO でオークション、差額購入、商品売買をすることができる。将来、CoinBuy は SDO ビジネス生態において重要な対外協力プラットフォームの一つとなり、その収益の 90%は SDO 通貨の所有者に返還されるものとする。



5.3 クイズ：BiPlay

BiPlay は全世界のユーザーに向けてブロックチェーン技術に基づいて設立された分散的で公平で公正で透明で公開されたサッカーくじのゲームプラットフォームであり、BTC、ETH、TUTSD で支払うことができる。

BiPlay は完全に公平なゲームルール、プレイヤーのプライバシー保障とすべての追跡可能な取引記録を提供し、スマート契約の自動的な実行を実現し、プレイヤーの利益を最大限に保障することができる。Super Dollars 生態は異なるプレーヤーのニーズを満たすために、BiPlay プラットフォームを利用して予測類、抽選類などの各種のエキサイティングなゲームを配信する。ブロックチェーンの応用帳簿の属性により、ゲームの資産は相互運用可能である。このため、ゲーム間の仮想資産取引市場は将来に大きな流量と財産集散センターになるかもしれないが、我々は引き続きコミュニティにサービスを提供する。



5.4 運動：First Step

First Step（中国語名：第一歩）はブロックチェーンに基づいてマイニングするスポーツ APP であり、また SDO の初めの東南アジア市場向けのオフライン流量製品でもあり、全体国民が自分の健康に関心を持ち、積極的に運動をすることを奨励する。First Step は、ノード運動（ステップとカロリー）を計算することにより SDO を奨励し、産出する過程はつまり運動の過程である。First Step のユーザーは運動をしながら、獲得した SDO で会員のアップグレード、収益配当、ユーザーの賞与、取引などの関連活動を行うことができる。First Step はスポーツエネルギーシステム、活躍度システム、競技システム（個人とチーム）という三つのシステムに分けられる。

First Step アプリケーションは募金しないで、ひそかに募集しないで、ユーザーは SDO をいつでもアプリケーション内に保存することで昇給したり、資産管理と奨励による収

益を得ることができる。このアプリケーションはただ SDO 生態のオフライン製品の一つで、その 1.0 バージョンは日本語、中国語繁体字に対応する。2019 年に 2-4 件の製品を発布する予定である。そしてすべてがグローバル製品であり、近いうちに皆さんと会うことができると信じている。

第六章 コンセンサスメカニズム及びノード

SDO 生態がすべてのユーザーに利益をもたらし、全員が参加するビジョンを実現するために、SD プロジェクトは、従来ノードの参加の難しさを下げ、コミュニティユーザーの参加率を向上させる。ノードの設計によって、本当に SDO プロジェクトをサポートして実際に SDO を持つユーザーが長期的に良好な収益を得るようになり、また SDO の流動性をより合理的な範囲に安定させる。POS 採掘に参加するキャラクターは、ライトノード、一般ノードとスーパーノードがある。

SuperDollars のメインネットワークが利用できた後、メインネットワークのコンセンサスメカニズムが DPOS モードに切り替わり、その中のスーパーノードは POS モードのライトノード、一般ノードによって投票し、共同でスーパーノードを選出する。

6.1 ライトノード

ライトとは、つまり認証の敷居が低く、誰でも軽量化で参加できる。ユーザーは少量の SDO を質入れするだけで自動的にライトノードとなり POS 掘削に参加できる。そして参加周期が短いことも軽量化参加のもう一つの特徴である。ライトノードが POS 掘削に参加する周期（SDO 質入れ周期）は、合理的で短い時間帯に制御される。これに対して、ライトノードが POS 掘削で得た収益係数はスーパーノードより低くて、また、生み出された収益は SDO トークンだけである。

6.2 一般ノード

コミュニティ内で一定のインターネット知識や技術能力を持つ個人やチームが SDO 生態の建設により深く参加することを奨励するために、一般ノードを開放してユーザーに採掘を提供する。ライトノードより、一般ノードの POS システムはより高いレベルの要件がある。具体的には、一般ノードの採掘は、ウォレットには 10 万個以上の SDO があることを前提として、ロックが必要なく、24 時間後に掘削を始める。採掘収益の公式は今のシステム内の一般ノードのオンライン数量 M と負の相関関係がある。つまり、全体から見て、現在の生態内の一般ノードが多いほど、採掘の週間収益が低くなる。初期状態では一週間の収益率は 40%であり、同時に M の全ネットでの上限値を 100000 個に設定し、M が 100000 個に達すると、収益率は 1%/週に減少する。この二つの場合では一般ノードが採掘を停止するなら、任意の時刻にネットワークの切断時間が 10 分を超えると、当該日の収益が 0 になり、また当該週の収益を計算する時、収益が 0 になる自然日をキャンセルして計算するべきである。自然日の時間は、グリニッジ標準期間に基づいて計算される。財布の残額が 10 万枚の FDS を下回る場合、採掘権が失われ、収益が停止する。一般ノードの収益は、SDO トークンと ETH であり、その中の収益部分の ETH は、すべて SDO 生態における収益の 10%からである。

6.3 スーパーノード

SDO プロジェクトチームは現在の生態の発展状況に応じて、ライトノードと一般ノードがうまく運営でき、コミュニティが順調に発展できる時に、スーパーノード計画を始めるつもりであり、即ち POS システムを DPOS システムにアップグレードして、コミュニティ自治委員会を導入し、同時にスーパーノードの権利と義務を明確にするものである。

第七章 SDO コミュニティ指導規則

7.1 コミュニティ自治指導草案

ほとんどのデジタル通貨愛好者は、BTC が成功した分散化自治コミュニティのモデルであると考えている。これは誰もが責任を負うものではないが、すべて人が責任を負う真の分散化のコンセンサス社会の縮図である。このようなコンセンサス社会の原形は、人々が今後の社会発展において参考にする価値がある。

したがって、BTC の事例に従って、SuperDollars はチームがない、センターがない、集権がないブロックチェーン生態、すべての人の自由コンセンサスに基づくシステムを作りたい。したがって、SDO コミュニティにおいて最も重要なメカニズムである非中心化投票コンセンサス自治体系は、SDO 開発チームが指導役をやめた後でも、生態がすべての参加者のコンセンサスに基づいて健全に発展することを確保することができる。

SuperDollars は SDO の生態の開発建設と透明化の進展に力を入れて，前期では良い管理機構を設立することで、コミュニティプロジェクトの一般事項と特権事項を管理することに役立つ。コミュニティプロジェクトの持続可能性、管理の有効性及び資金募集の安全性を主に考慮し、SDO チームは以上の管理権限をコミュニティ委員会に徐々に渡し、その周期は大体生態が成熟期に入った後である。

SuperDollars は現在、コミュニティに対して、指導的な意見とコミュニティ構造の草案のみを提供して、後のコミュニティの自治は、コミュニティ委員によって実行される。自治委員会及び各チームの分業は以下の通りである：

SDO コミュニティ自治原形

（1） SuperDollars 自治委員会は、非中心化投票コンセンサス自治システムを通じて 21 の同方向者を選出し、SDO コミュニティの指導者として SDO の健全で安定な発展を維持し、SDO ユーザー全体にサービスを提供する。このような非中心化の投票コンセンサス自治システムを通じて、SDO ユーザーはいずれも同方向者として選ばれ、コミュニティ全体に貢献するチャンスがある。同様に、価値を創造しない、SDO の健全で安定な発展を助けることができない同方向者は、この資格がなくなる。弾劾はコミュニティのメンバーによって開始され、通貨を持つウォレットアドレスのユーザー数の 5%と同方向者の 70%を超えた場合、当該同方向者の資格を取り消すものとする。持続的なコミュニティ非中心化投票コンセンサスは、SDO を健康、積極、民主、自治の自由コンセンサスコミュニティにし、また全民のコンセンサスを通じて SDO に永遠の発展と持続をもたらすことができる。

スーパーダラーズ自治委員会は、コミュニティのメンバーから提出された以下のような事項について協調を行う。

（2）協力関連事項：取引所、相場プラットフォーム、メディア、社会団体などと協力するなどブランドに関連する事務を含むがこれらに限らない。

（3）商業関連事項：支払い、金融、買い物、ゲーム、博彩などの営利的な事務を含むがこれらに限らない。

（4）技術関連事項：ブロックチェーン技術、コードオープンソース、分散式記憶、クラウド計算、広告、ビデオなどの技術的な事務の開発と方策決定を含むがこれらに限らない。

（5）運営関連事項：宣伝、検索エンジン最適化、DAPP 普及、世論監督などの事務を含むがこれらに限らない。

7.2 コミュニティ自治指導草案

SuperDollars はプロジェクトの集権化の権益をコミュニティに渡すことに努力して、各権益者、貢献者は SuperDollars の運営と発展に参加することができ、分権化された高度な自治権を持つコミュニティを創造する。

権益の行使対象：SuperDollars デジタル通貨を持つ権益者、コミュニティの自主的な貢献者

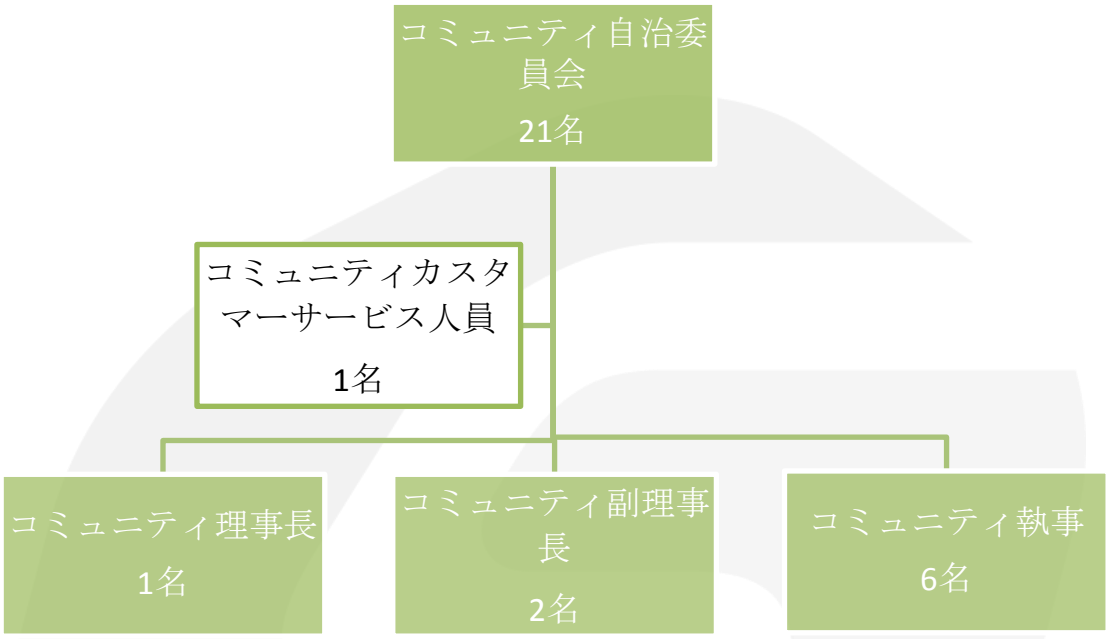
権益の種類：応用シーンの提案、応用製品の投票、コミュニティ開発の提案、プロジェクト発展の提案、コミュニティ委員会の選挙を含むがこれらに限らない。

権限行使の方式：オンラインで提案すること、投票権（同意／否決）、活動参加権など

権限行使のルール：定められた時間内で、少数派が多数派に従うという原則に基づいて最終的な結果を判断する。

権益行使の提出ルール：コミュニティの特定のページで、定められた時間内で、現在のコミュニティユーザーの 10%以上のメンバーの同意を取る場合、投票を行うことができる。

SuperDollars コミュニティは、毎年にコミュニティ投票によってコミュニティ委員会のメンバーを選出し、コミュニティ委員会のメンバーは主にコミュニティの各チャンネルの運営進捗を監督し、無効な情報をクリアし、権益の執行状況を監督することを担当する。



コミュニティ委員会管理機構

コミュニティ委員会のメンバーの機能及び選挙方法は以下の通りである。

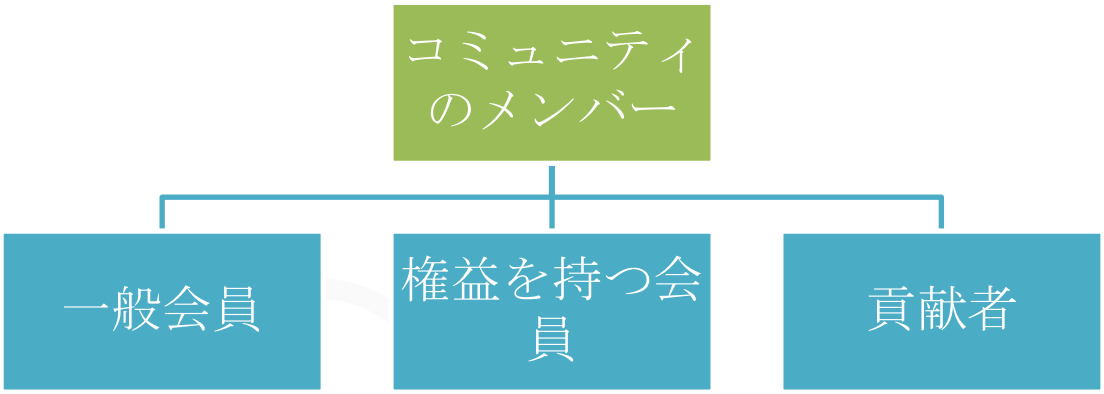
（1）コミュニティ理事長はコミュニティの各種提案、イベントの開催、話題の移転などの権限を持ち、コミュニティの執事、副理事長選挙によって選出され、任期は一年とする。

（2）コミュニティカスタマーサービス人員はコミュニティの権限を持たず、コミュニティ技術、サービスコンサルティングのみを提供し、創始チームに任命され、SDO 生態が安定期に入ってから徐々に脱退する。

（3）コミュニティ副理事長は、理事長の仕事に協力してコミュニティの自治事業を行い、コミュニティ執事、理事長選挙によって選出され、任期は一年とする。

（4）コミュニティ執事は、コミュニティの権益者を代表して提案を発表し、各活動、話題、投票などのコミュニティの日常活動の透明度の監督活動を行い、コミュニティの権益者によって選出され、（得票数が多い順に上位 6 名を選ぶ）、任期は一年とする。

SuperDollars スーパーノードの建設が完成した後、コミュニティで選出された自治委員リストを発表し、これから SuperDollars の最初のコミュニティ委員会が設立される。我々はコミュニティメンバーがますます多くになるので、今後のコミュニティ自治委員会の意思決定を簡単にするために、コミュニティの権益者に対しても関連した区分を行う。



コミュニティメンバーシステム

定義の解釈

一般会員：登録することでコミュニティの会員になり、各コンサルティングを簡単に読むことができ、討論ができ、投票権がない。コミュニティ活動に参加したり、提案やビジネスの手がかりを提供したりすることで、SuperDollars のデジタル資産を獲得して、権益を持つ会員にアップグレードできる。

権益を持つ会員：ウォレットアドレスをバンドする登録した会員であり、ウォレアドは一定数の SuperDollars のデジタル資産を持っている。

貢献者：ライトノード、一般ノード、スーパーノードの資格を持つすべてのユーザ

SDO はいかなる個人や組織も属さず、分散化自由コンセンサス自治は大きな転覆的実践であり、SDO の投票メカニズムは生態がすべての人の希望に従って発展することを確保し、少なくともある程度で分散化コミュニティに対する探求である。分散化によって、人々はこのより完璧な生態の中で収益と尊重を得ることができる。

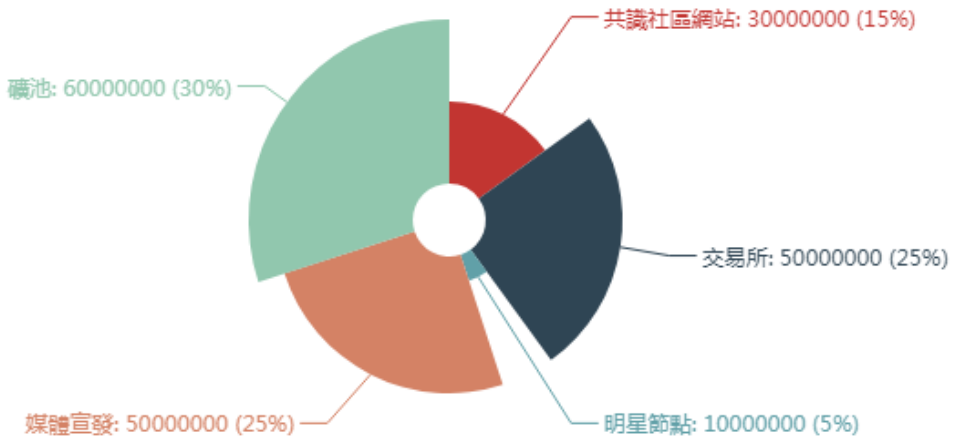
第八章　SDO 生態

SDO 生態の発展は初期段階、形成段階、民主自治段階という三つの段階に分けられる。

8.1 初期段階

第一段階では、SDO プロジェクトは始まったばかりなので、生態協力の迅速な形成を確保するために、一部の予めに掘られた SDO は公開、透明な方式で SDO の初期生態構築の資金として使用される。注：詳細は 2.1 章の説明を参照してください。

初期生態構築基金は 2 億 SDO であり、コンセンサスコミュニティーサイト構築協議賞金、取引所協力高級通貨賞金、メディア協力及びブロックチェーン業界スター構築スーパーマスターノード賞金、自由コンセンサスコミュニティ啓蒙者奨励及び市況データプラットフォーム展示賞金として使用される。



8.1.1 ンセンサスコミュニティサイト構築協議賞金

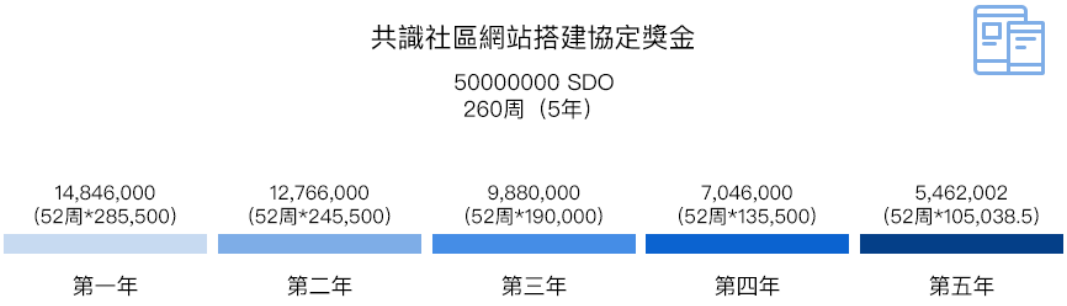
（1） ンセンサスコミュニティサイト構築協議賞金は合計 30000000 SDO であり、5 年間の周期、合計 260 週で、要件を満たすすべてのコンセンサスコミュニティ自主構築サイトに配布される。

（2） コンセンサスコミュニティ自主構築サイト協議賞金の流れは以下の通りである。ウェブサイトの設立を申請し、構築者は必ず表をダウンロードし、要求に従って記入し、XXXXXXXXXXXXXXXX にメールを送る。

（3） 独立したドメイン名で、ウェブサイトの正常な運行を維持し、エリアと数量の制限がない。構築が成功したら、自分でコミュニティグループに知らせる。

（4） 要件を満たすすべてのウェブサイトとアドレスに対して、SDO はそれらを集中的に展示し、コミュニティユーザーの投票や訪問を許可し、コミュニティユーザーの監督と告発を受ける。関連奨励金が支給された後、SDO チームは送金記録とアドレスを公開する。

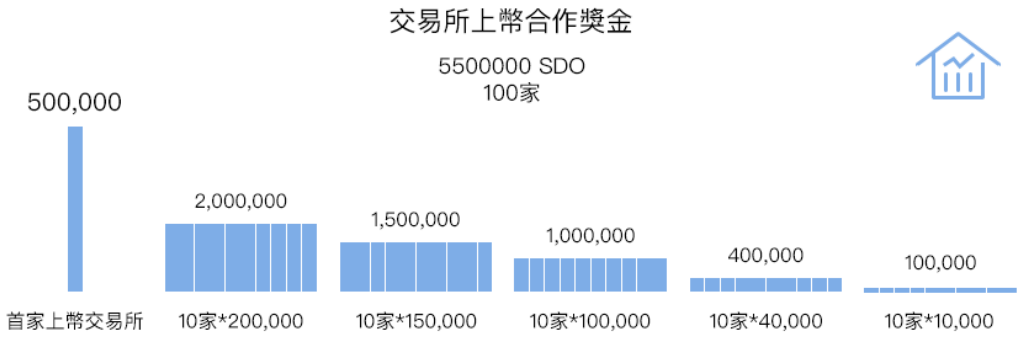
コンセンサスコミュニティ自主構築サイト協議賞金の支給は以下の通りである。



8.1.2 取引所協力協議及び賞金

（1） 取引所高級通貨奨励は全部で 50000000 で、フロー率によってオンラインした SDO 取引の上位 70 のホワイトリスト内の取引所に支給される。賞金は彼らのオンライン SDO 取引の先着時間によって支給される。オンライン SD 取引が早いほど、賞金が高くなる。

詳細は以下の通りである：



取引書のデータは別紙の取引書ホワイトリストに参照してください

（2） 取引所高級通貨奨励の流れは以下の通りである。取引所はその公式サイトで SDO オンライン取引所の公告を発表しなければならない。同時にメールを XXXXXXX XXXX に送り、SDO チームは送金記録とアドレスを公開する。

（3） ホワイトリスト取引所は次のような協議を守らなければならない。

①オンライン SDO 取引ペアは、優先的に ETH 取引ペアを作成する必要がある；

②オンライン SDO 取引の当日は、関連の併発テストを行う必要があり、またチャージや引き出しが正常である。

③オンライン SDO 取引後の一週間内に、SDO チームは取引が正常であるかどうかを確認する。

処罰：わざと空売りすること、技術が不合格であること、ユーザーの体験がよくないこと（20 人以上のグループオーナーに告発される）について、我々はメディアとネットに公開するものとする。

（4） 非ホワイトリスト取引所の協議は以下の通りである。

① 取引所の成立時間≥1 つの自然年；

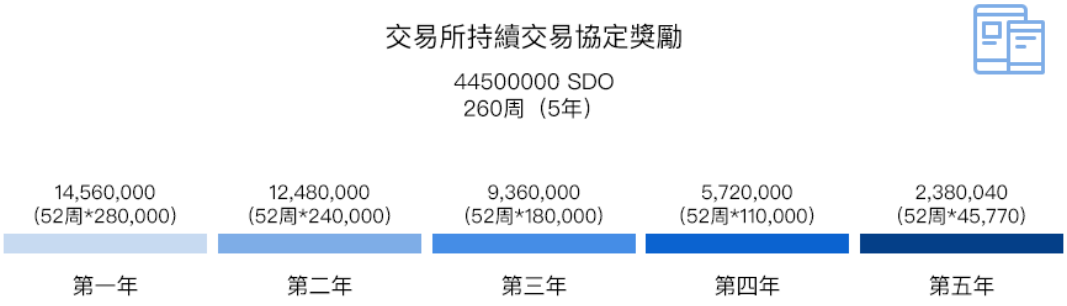
② 採用された市況プラットフォーム≧20 個で、そのうち 5 つは ALEXA のランキングが 10 万以内である。

③ 取引所のオンラインプロジェクト側は 15 個を下回ってはならず、最近 3 ヶ月の新たなオンラインプロジェクトは 3 個を下回ってはならない。

以上の条件を満たす取引所は、関連状況のスクリーンショットを撮り、XXXXXXXXXXXX にメールを送る。

処罰：SDO チームの審査がなく、またホワイトリストにない取引所は、SDO 取引ペアを強引にネットで発行して、そして 20 人以上のグループオーナーに告発される場合、我々はメディアとネットに公開するものとする。

(3) 取引所の継続的な取引奨励は以下のように配分する。



8.1.3 ブロックチェーン業界スター構築スーパーマスターノード奨励

（1） ブロックチェーン業界スター構築スーパーマスターノード奨励金は合計 10000000 SDO であり、上位 100 位のスーパーノードを構築する業界のスーパースターに配布される。賞金はスーパーノードの構築時間の先着順に支給される。この 100 人の先行スターは 1000000 SDO 賞金が獲得でき、一人当たりは平均 100000 SDO が得られる。

（2） ブロックチェーン業界スター構築スーパーマスターノード奨励のプロセスは以下の通りである。ブロックチェーン業界のスターはホワイトリストに記載されたソーシャルアカウントでスーパーノードを構築する公告を発表し、本人またはアシスタントを介して SuperDollars.top に提出する必要がある。

（3） ブロックチェーン業界のスターが公告を発表した後一週間以内に、SDO チームはスーパーノードが成功的に作成されたかどうかを検証する。検証に成功したら、SDO チームは業界スターが発表した SDO アドレスに SDO 奨励を支給し、そして送金記録とアドレスを公開する。

終わりに：コミュニティの健全な発展のために、みんなが団結して生態の発展を維持してください。1000 個のライトノードの設立が完了する場合、SDO 生態初期段階が円満に終了し、生態形成段階に入ることを示している。

8.2 SDO 生態形成段階

SDO 生態の中の分散化探索は、分散化コミュニティの運営方式を再定義し、そして社会の各方面の運行に新しいコンセンサスと啓発を持ってくる。

したがって、SDO 生態の形成は、我々がこれまでずっと探求してきた方向であり、生態形成期においては、我々は主にコミュニティユーザー数とコミュニティ生態知名度という二つの発展難題を解決する。

我々は下記 3 つの方法を通じて、コミュニティのユーザー数とブランドの知名度を広めるつもりである。

8.2.1 普及試合方式

同周波数共振の核心はコミュニティ試合であり、デジタル資産の二次分配を通じて、資源があり、実力があるコミュニティユーザーが積極的に新しいユーザーを推薦することを奨励し、個人が高い報酬を得たと同時に、コミュニティのユーザー数の増加にも役立つ。

普及試合は A-B-C の三級会員システムに分けて展開される。

普及試合は創世試合と一般試合に分けて展開される。その中で、創世試合は ETH を奨励方式とし、一般試合は SDO を奨励方式とする。

8.2.2 オンライン運営方式

コミュニティは発展のニーズに応じて、ユーザー数の増加と製品の発行という双方向の発展計画を完成するために、多種の試合とマルチ DAPP を開通した。抽選激励、オークション、ハッピーショッピングモードなどを含むがこれらに限らない。DAPP はゲーム、入札広告、デジタル化商業協力、匿名社交などを含むがこれらに限らない。SDO プロジェクトチームはすでに複数のブロックチェーンプロジェクト側、実験室と協力することで合意した。我々はタイムリーにコミュニティで最新の協力情報を発表する。

すでに発表された取引所ホワイトリストと宣伝計画及び一定数のファンを持つブロックチェーン愛好者がブランドの普及と宣伝に参加することで、SDO 生態の知名度を高める。

8.2.3 オフライン普及方式

SDO 生態コミュニティは、異なったオフラインプロジェクト側が我々と積極的に互恵的協力を展開することを奨励している。コミュニティユーザーの成長及びコミュニティの健全な発展に寄与するいかなる協力は、SDO コミュニティグループより提案され、実行されることができる。SDO プロジェクトチームは、オフライン普及方式の非中心化運営をさらに指導する。

グローバルでの配置については、毎月に二つの言語で関連製品の紹介を更新し、毎月に一つの国または地域とネット協力を行う予定である。現在配置されている言語は、台湾繁体字、簡体字、英語、日本語、韓国語がある。また今東南アジアの都市の台湾、東京、ソウル、シンガポール、バンコク、ベトナムホーチミン市、スリランカの七つの都市で製品を広めいている。この七つ都市でプロジェクト取引所、プロジェクトインキュベーション、インキュベーター、コミュニティグループ協力、基金協力、ノード意向交渉、法定通貨両替ルートなどを推進していて、SDO チームはオフライン普及方式の非中心化運営を完成するように、コミュニティ自治委員会をさらに指導する。

8.3 SDO 民主自治段階

SDO 民主自治段階の商業用途の形成には、次のような特徴があると思う。

（1） 非中心化投票自治体システムが良好に運営され、コミュニティコンセンサスが広く注目され、ウォレットアドレス数は 3000 万に達すること。

（2） Super Pay 財布を通じて、主流国家の法定主流通貨の 30 種以上に自由に両替でき、また他の主流デジタル通貨取引ペアの 100 種以上に自由に両替できる。

（3） 全世界の 10 万のショップをリンクすることができ、そして毎年 5%のスピードで拡張していて、1 万のショップは SDO 生態中の同業者になる；

（4） 全世界の 20 カ国は 1000 以上の同盟クラブを誕生し、オフライン交流と集まりを提供する。

（5） SDO 生態では、スーパーノード数が 1 万を超え、SDO の流通に基づく DAPP が 500 個を超える。

SDO プロジェクト技術チームは、五つの目標の実現のため六つのシステムを配置して、この六つのネットワークシステムはブロックチェーン技術と非中心化設計の理念に基づいてオンラインで利用される。

（1）コミュニティ自治問題を解決する非中心化投票システム。

（2）通貨両替問題を解決する協力性匿名金融ネットワーク。

（3）需給接続問題を解決する分散式入札情報システム。

（4）アプリケーションの発行問題を解決するプロジェクト支援孵化協力システム。

（5）エンティティ奨励問題を解決する非中心化収益配当アルゴリズム。

五つのネットワークシステムを通じて、我々は非中心化コンセンサス社会、全生態未来デジタル通貨ネットワークを創建し、積極的に発展する分散化商業生態を作成し、そして新たな分散化自由コンセンサス社会を共同で創建する。

8.4 SDO 未来ビジョン

SDO 同周波数共振の設計は「ユーザーを中心に」という考えから来て、「プロジェクトは誰が構築したのか重要ではなく、重要なのはプロジェクトが建てられたものだ」ということである。我々はオープンソースプラットフォームを通じて全員と協力することを期待している。ブロックチェーンは「コンセンサス」を強調しているが、コンセンサスに至るまでには、十分な数の人が同じ夢を持ってここに集まってくれる必要がある。「同周波数共振」の中のコンセンサスは、同心、同力、同方向、同行で体現される。SDO 生態をより完璧に構築するために、SDO は「同周波数共振」を満たすより多くの参加者及より多くのクリエイターが必要である。SDO 生態をより完璧にしてこそ、SDO プロジェクトの増長による配当金を獲得できる。私たちは SDO 生態がもっと多くの人の夢をつなぐほど、一人一人のより良い未来に近づくと信じている。

人類の発展を進める技術が「人」の誠実さと貴重な夢に基づくものであることをこれまで疑ったことがない。チャンスは列車のようであり、完全によく見えたが、入りたくても入れない。

我々が SDO 生態に参加する時から、生態の中の一つの重要なセクションとなる。これは、我々は創造した製品の未来発展が決定できるだけではなくて、更に SDO 生態の未来を把握する能力があるのである。我々は生態の価値観を形作る能力がある以上、多くの責任を負う必要がある。

我々は皆 SDO 生態に深く関わっていて、共に未来への道を切り開く。ブロックチェーン業界とデジタル通貨は投機家がいらない。我々は各積極参加者の知恵を合わせて、SDO 生態をより幅広く普及してほしい。これは知恵の中から鍛えられた力であり、この力はあなたから来て、我々の中の毎人から来たのである。これこそ皆さんの未来の希望である。

希望は弱者を絶対に見捨るものではなく、希望は実は堅持であり、私達自身である！

付録

取引所ホワイトリスト

備考：ランキングは特定の順序ではなくて、数字-アルファベット順に並べている。		
番号	取引所の名前	ウェブサイト
1	58COIN	http://www.58coin.com
2	6Xcoin	https://www.6x.com
3	86COIN	http://www.86coin.io
4	A11COIN	https://www.allcoinex.io
5	Baobi	https://www.btctrade.tv
6	BCEXGlobal	https://www.bcex.top
7	Befong	https://www.befong.com
8	Bibox	https://www.bibox.com
9	BigOne	https://big.one
10	Binance	https://www.binance.com
11	BIONE.CC	http://www.bione.cc
12	Bitalong	https://www.bitalong.com
13	BitAsset	https://www.bitasset.com
14	Bitfinex	https://www.bitfinex.com
15	BitForex	https://www.bitforex.com
16	BitGet	https://www.bitget.com
17	Bithumb	https://www.bithumb.com
18	BitMarket	https://www.bitmarket.net
19	BitMart	https://www.bitmart.com
20	BitMEX	https://www.bitmex.com
21	Bitstamp	https://www.bitstamp.net
22	BITTREX	https://bittrex.com
23	Bit-Z	https://www.bit-z.com
24	BKEX	https://www.bkex.com
25	BTC-Alpha	https://btc-alpha.com
26	BTCBOX	https://www.btcbox.co.jp
27	CEO.Bi	https://ceo.bi
28	CEX.IO	https://cex.io/
29	CHAOEX	https://www.chaoex.info
30	COBINHOOD	https://www.cobinhood.com
31	Coinbase	https://www.coinbase.com
32	CoinBene	https://www.coinbene.com
33	COINBIG	https://www.coinbig.com
34	CoinMex	https://www.coinmex.com
35	COINNEST	http://www.coinnest.co.kr

36	COINOAH	https://coinoah.com
37	Coinone	https://coinone.co.kr
38	Coinsuper	https://www.coinsuper.com
39	CoinTiger	https://www.cointiger.pro
40	Coinw.ai	https://www.coinw.ai
41	Coinyee	http://www.coinyee.pro
42	CoolCoin	https://www.coolcoin.com
43	CREX24	https://crex24.com
44	Dcoin	https://cn.dcoin.com
45	DFEX	https://www.dfex.com
46	DigiFinex	https://www.digifinex.com
47	DragonEx	https ://dragonex.im
48	EXMO	https://exmo.com
49	Exrates	https://lk.exrates.me
50	FatBTC	https://www.fatbtc.com
51	FEXPRO.NET	https://fexpro.net
52	FUBT	http://www.fubt.top
53	GAEA	https://www.gmex.io
54	Gate.io	https://gateio.org
55	HEX	https://www.hex.com
56	HITBTC	https://hitbtc.com
57	Hotbit	https://www.hotbit.io
58	HPX	https://www.hpx.com
59	Hubi	https://www.hubi.com
60	Huobi	https://www.hbg.com
61	IDAX	https://www.idax.pro
62	IDCM	https://www.idcm.io
63	IMX	www.imx.com
64	Indodax	https://indodax.com
65	KKCoin	https://www.kkcoin.com
66	KKEX	https://kkex.com
67	Korbit	https://www.korbit.co.kr
68	Krnken	https://www.kraken.com
69	KuCoin	https://www.kucoin.com
70	LakeBTC	https://lakebtc.com
71	Lbank	https://www.lbkex.com
72	LiteBit	https://www.litebit.eu
73	LiveCoin	https://www.livecoin.net
74	Mercatox	https://mercatox.com
75	Mac	https://www.mxc.com/
76	OKEX	https://www.okex.com
77	OTCBTC	https://otcbtc.com
78	P2PB2B	https://p2pb2b.io

79	PK.top	https://www.pk.top
80	POLONIEX	https://poloniex.com
81	PURCOW	https://www.purcow.io
82	QBTC	https://www.myqbtc.com
83	Rfinex	https://www.rfinex.com
84	RIGHTBTC	https://www.rightbtc.com
85	SilkTrader	https://www.silktrader.net
86	s.top	https://s.top
87	STEX	https://www.stex.com
88	TheRockTrading	https://therocktrading.com
89	Tidex	https://tidex.com
90	Tokencan	https://www.tokencan.net
91	TOKOK	https://www.tokok.com
92	Upbit	https:// sg.upbit.com
93	WBTC	https://www.vvbtc.com
94	WinMax	https://www.winmax.me
95	WR.NET	https://www.wr.net
96	Y.CEO	https://y.ceo
97	YEX	http://yex.com
98	ZB	https://web.zb.com
99	ZBG	https://web.zbg.com
100	Zebpay	http://www.zebpay.com